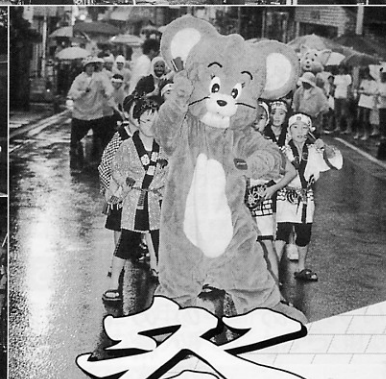


8月10日、2年連続の雨でもメロス坂はまつりで大盛況

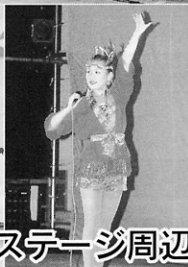


メロス坂商店街
こっちゃんこまつり



2002
金木夏まつり

祭



8月14~18日、津軽三味線会館野外ステージ周辺はまつり熱気で気温上昇

金木川はんらん

畠町・栄町・小川町・川端町地区に避難勧告発令

八月十一日未明から降り続けた大雨で金木川がはんらんし、周辺の五十五世帯が床上・床下浸水の被害を受けました。また、この大雨で水田などへの冠水、道路路肩と法面の崩壊、橋りょう流出、水路の法面崩壊など大きな被害が出ました。

町では水害対策本部を設置し、周辺の百八十四世帯五百二十四人に避難勧告を発令（このうち五世帯十三人が中央公民館に避難）し、朝日橋橋りょうに堆積した流木等の撤去、避難が遅れた住民の救出など関係機関の協力を得て被害の拡大を防ぎました。

川水が引けた翌十二日以降には、被災世帯の状況調査を行い対応を協議し、被災世帯への給水、毛布等の支給、防疫のための消石灰の配布と側溝への散布などを行い復旧に努めました。

被災者に対しましてあらためてお見舞い申し上げます。



増水した金木川周辺



崩壊した女坂の水路



冠水した浮州の水田



被害状況

◎家屋浸水

	件数	内 訳
床 上	22	居宅16、店舗1、小屋・車庫5
床 下	33	居宅28、小屋・車庫5

◎農作物

	被害面積	被害額
水 稲	228.40ha	4,411千円
野菜等	196.60ha	10,994千円
計	425.00ha	15,405千円

◎建設土木

	被害箇所	被害額
道路・橋りょう等	15ヶ所	33,417千円
農林水産業施設等	30ヶ所	77,418千円
計	45ヶ所	110,835千円

市町村合併を考えよう その3

市町村合併懇談会

8月20日から町内5施設で、町民の皆さんの意見を聞き一緒に考える合併懇談会が開催されました。この中で出された意見を抜粋してQ&A形式で紹介しますので、皆さんの意見を行政に反映させましょう。



Q 4町村で合併した場合は市になるのか。ならないなら合併の意味がないのでは

A. 市の要件が人口4万人(特例で平成16年3月31日までは3万人)ということから、4町村で29,340人なので市にはなれない。西北五の任意合併協議会設置案があり、選択肢が増えることから参加し情報を提供して町民の判断で行っていききたい。

Q 合併により税金が高くなるのではないかと

A. 負担は低い方に、サービスは高い方に設定するのが合併の基本である。4町村の場合は税金は同じだが、五所川原市との場合は都市計画税などがあり将来的には増加が考えられる。格差が生じた場合は、支援措置財源で補うこととなる。



Q 五所川原市と合併した場合、病院はどうなるのか

A. 合併とは関係なく、西北五の5公立病院の赤字解消のために一つの事務組合運営とし、西北病院を主病院としてその他を診療型や療養型にする計画が進んでおり、12月ごろには概要がまとまる。

Q 町長の立場として4町村で行くのか五所川原市で行くのか聞きたい

A. 方向付けはまだ決めていない。4町村では、どのような合併となっても共に歩調を合せていく話はしている。町民の意思を大事にして決めていきたい。



Q 4町村の合併への進行状況はどうなっているのか

A. 早く4町村で立ち上げたらとの話はあるが、町民の皆さんの選択余地がないと考えられるので五所川原市との場合と4町村の場合の情報を提供し皆さんに選択してもらいたい。また、アンケート調査も行い皆さんの声を幅広く聞いて議会と相談していきたい。

Q 金木町は合併なしで持っていけないのか

A. 地方交付税が年々減額(去年と今年で4億円)されている現状で、少子高齢化により人口や納税者が減少し介護保険などの経費が増大することから、財政的に困難である。

Q 合併の枠組みはどうなるのか具体的説明がほしい

A. 協議会で10月10日ごろには、合併した場合の財政的な効果などを示した将来構想を発表する予定です。

Q 合併の最終決定は住民投票が議会議決か

A. 他県で住民投票を行ったが統一できなかった事例があることから、今のところは議会議決である。しかし、まだ議論する余地がある。

Q 合併の必要性が広く町民に知られていない、もう1回説明会など行うべきではないか

A. 中央公民館で合同の勉強会を開催する予定である。

Q 合併した場合、転作はどうなるのか。他町村の未達成分を金木で補うことになるのか

A. 転作の配分は平成16年まで国が定めており、不公平分を解消するため数量での配分となる見込みだが、平成17年以降は未定である。非協力者が出ないように努力します。



Q 4町村で合併した場合、本庁はどこに置くのか

A. 全く白紙である。今のところ10年間は金木に置きましょうとのムードはあるが、断言はできない。

Q 合併により住民の声が行政に届かなくなるのではないかと

A. 各地域に地域審議会を設置し、その地域におけることを審議して検討していく。

Q 企業誘致を考えると、4町村の合併より五所川原市も入れた合併の方がよいのではないかと

A. 五所川原市と合併した場合が誘致に期待が持てるが、今の経済状況を考えるとはっきりといえない。

Q 合併方向の最終決定はいつごろなのか

A. いろいろな合併パターンと合併しない場合のメリット・デメリットを示し、アンケートにより町民の声を聞いて12月ごろか遅くとも来年3月までには決定したい。

Q 大きく合併するほど人件費の削減効果などが大きいことから合併目標は五所川原市ではないかと

A. 30人委員会(各町議会議員が一般町民2人を委員として選出)を設置し意見を聞き、アンケートなどの結果を見て態度を決めたいが、あくまでも町民主導で行っていききたい。

Q 合併した場合、負債などはどうなるのか

A. 町村によって違う負債は合併した場合、この負債に対しての合併による財政支援措置と県補助金がある。

平成14年度



成人を祝う会

将来を担う新成人96名

20歳になって一言

川山 弘記さん(金 木)

「20歳になってうれしい」



「将来に向けて
がんばりたい」

對馬 央也さん(金 木)

木村 治美さん(嘉 瀬)

「いつのまにか20歳に
なっちゃいました」



「なんか20歳になった
感じがしない」

阿部 美紀さん(金 木)

後列右 伊丸岡優希さん(喜良市)

「家族や友人に今日
という日を迎えら
れたことを感謝し
たい」



平成十四年度金木町成人を祝う会が八月十五日、中央公民館で開催され、新成人百五十四人のうち九十六人が出席して行われました。
式典では、鳴海町長が「みなさんの若い力を町発展のために発揮してください」とあいさつし、三瀨議長が祝辞を述べました。新成人を代表して今昭人さん(喜良市)が「より一層の努力を惜しまず成人としての自覚を持って社会に貢献し盛り上げていきたい」と謝辞。続いて前田ユキさん(神原)が「今日の自分より明日への自分へと、日々成長できるように全力で進んでいきたい」と二十歳の主張を述べました。
この後、中学時代の恩師神啓一先生(金木中)の思い出スピーチと、津軽三味線演奏と講師範のまんじ愛華さんによる津軽三味線演奏と講演が行われました。
祝賀会で出席者全員が新成人を祝う乾杯をした後、友人らと思い出や近況を語り合っていました。



二十歳の主張を述べる前田ユキさん

謝辞を述べる今昭人さん



20歳を祝して乾杯



角田 昭次 助役
(65歳)

◆趣味 釣り、読書、囲碁
スポーツ観戦

「町長の補佐役として初心にかえり、町村合併をはじめ山積する課題に取り組んでいきたいと思えます。町民皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。」

九月四日に開かれた、第百八十一回町議会定例会に角田昭次氏の助役選任についての人事案件が提出され、全会一致で承認されました。
角田氏は、昭和三十二年から金木町職員として三十五年間勤務。この間、総務課長、企画室長、議会事務局長などを歴任し、平成五年から二期助役を務めています。

再任 助役 角田 昭次氏

お便り コーナー

東京ふるさと金木会

Vol.2

立秋も過ぎたというのに東京は暑い日が続いています。

7月から8月にかけて、東京でいろいろな祭りが行われました。靖国神社のみたま祭り、東京上野祭り、両国隅田川の花火大会等々大変な賑わいでした。

靖国神社のみたま祭りと東京上野祭りのネブタには金木会々員も多数参加し、沿道の大観衆より大喝采をもらい感激しました。この祭りには、事務局より全会員に参加を呼びかけて会として参加しています。

今回は、250名余りの会員に故郷の広報かなぎをはじめいろいろな文書を発送している東京ふるさと金木会の事務局を紹介します。

事務局は、JR山の手線巣鴨駅南口から歩いて3分ぐらいのところにある、加藤一治税理士事務所の一隅を平成8年から提供してもらっております。

加藤事務局長（副会長兼務）は、昭和23年生まれ、藤田出身（加藤卓爾氏長男）で金木中学、五所川原高、明治大学経済学部を卒業後、昭和62年4月に税理士事務所を開業し現在はスタッフ4名で活躍中です。

事務局は文書の発送のほかに経理も担当。会の役員はみんなボランティアでやっておりますが、特に事務局は大変です。本当にご苦労さまです。

事務局は分かりやすい所にあります。故郷のみなさんも、上京の折にはぜひお立ち寄りください。

【東京ふるさと金木会事務局】

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨1-3-22 ドニス天野 2F

加藤税理士事務所内

TEL:03-3942-8825 FAX:03-3942-9171

